

北日本放送

活動名	KNB 読み聞かせ事業
イベント実施期間	令和 8 年 2 月 28 日
実施回数	会場 1 回
ネット配信期間	令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
ネット配信作品数	新規作品 50 本

【事業実施の成果・課題】

富山県の運営する高志の国文学館で行う朗読会は、多くの県民にアナウンサーの生の声を聴いてもらえる貴重な機会であるとともに、楽器の生演奏とのコラボレーションによって会場と一体になった没入感を提供するイベントとして毎年満席の人気イベントとなっている。

担当のアナウンサーは半年程度かけて、文章の読み込みと演奏者とのすり合わせなど、文学作品をより魅力的に伝える工夫をしている。

朗読する作品は文学館の企画展と連動するものを指定されることがあり、今回の作品は少し高い年齢層に向けた朗読になってしまった。子どもや学生の利用も多い文学館なので、昨年度クリスマスに実施したアンデルセン童話のような作品を朗読できるよう文学館側と相談していきたい。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<読み聞かせイベントを担当したアナウンサーの感想>

自分の声で物語を届けることで『言葉や作品の登場人物たちの会話が、ただの文字ではなく、体温を持ったメッセージに変わる』という読み聞かせの魅力を身をもって体感することができた。

また、普段のアナウンサーの仕事はカメラの前が中心だが、実際に大勢の人の前で読むことで、来場者のうなずきやリアルな反応をダイレクトに感じられたことが新鮮で、大きな励みとなり、貴重な経験となった。

<朗読番組を担当するアナウンサーの感想>

- ・文学作品の朗読で文章の読解力が磨かれているように感じる。
- ・文章を音声表現でどう伝えるかを試行錯誤することがアナウンス技術の向上につながっている。など

【視聴者、来場者などの感想】

＜イベント来場者の感想＞

- ・入社して4年のアナウンサーとは思えない上手な朗読だった。（来場者・一般）
- ・普段テレビで見ている平アナウンサーの喋りより、読みのテンポがゆったりと丁度よくさすがアナウンサーだと思った。（来場者・一般）
- ・あれだけ多くの登場人物を、声色を変えずに文法解釈上きちんと読み分けられていてうまいと思ったし安心して聞けた。（来場者・中学校国語教諭）

＜KNB ラジオ文庫の配信＞

リスナーからの感想はSNS への書き込みが多く、ポッドキャスト番組の聴取を勧める投稿など好意的な声が多い。